

■ 鈴江言一 社会運動家、中国研究者。専ら中国で、満鉄の庇護のもと工作活動しながら、階級運動について研究した。

すずえげんいち

日清戦争始・1894 = 島根県飯石村で、実業家鈴江泰蔵の八男に生まれる。

父が事業に失敗し、家族離散となる。

日比谷公園・1903 = 9歳：

日露戦争終・1905 = 11歳：

明治天皇没・1912 = 18歳：

大正政変・・1913 = 19歳：東京に勤め、

21ヶ条要求・1915 = 21歳：入営。

除隊後、上京し、車引きの本職になるまでして、明治大学別科に学ぶが、

大暴落・・・1920 = 24歳：

べ 勝江条約・1919 = 25歳：除籍になると、住み込んでいた法律事務所の紹介状をもって_北京に渡り、邦字紙{新支那}の記者となり、

原敬首相暗殺1921 = 27歳：_国際通信社北京支局記者となる。この頃から中国の多くの革命家や中江丑吉を識る。

この間、_偶然会った満鉄のエリート社員伊藤武雄と終生の親友になるとともに、その庇護を受け、

円本時代始・1926 = 32歳：*伊藤の推薦で、満鉄北京公所の研究生となり、上海邦人紡のストライキ・浜松の日本楽器のストライキの現場視察したり、華中農村を中国人を装って演説して歩く。

金融恐慌・・1927 = 33歳：武漢の汎太平洋労働会議に訪中した山本懸蔵・渡辺政之輔案内役となる。

世界恐慌・・1929 = 35歳：_「支那無産階級運動史」。国民党左派の胡郭公に招かれ、上海に居住。

海軍軍縮条約1930 = 36歳：_「支那革命の階級対立」。雑誌{批判}({我等}の前身)の座談会に、王子言の名で出席。

満州事変・・1931 = 37歳：_「孫文伝」。北京に移り、画家柳瀬正夢を通じて日本の左翼運動と連絡。

帝人疑獄事件1934 = 40歳：外務省文化事業部の研究生、

日中戦争始・1937 = 43歳：*満鉄囑託となり、

健保+総動員 1938 = 44歳：_上海東京間を往復して、和平工作を進めるものの、

第二次大戦始1939 = 45歳：

_結核の闘病に追われるようになり、

日米開戦・・1941 = 47歳：

近代の超克・1942 = 48歳：*この年死去した中江丑吉の葬儀で出会った中江の姪浪子と恋愛するも、直後に治安維持法違反容疑で逮捕され、満州(中国東北部)に送られ、まもなく釈放されて、結婚したが、

敗戦・・・・1945 = 51歳：九大病院で、_没した。